

1 題材名 海を作ろう ～瓶の中の素敵な世界～

2 題材について

本学級は、児童6名が在籍する。集団としては元気に仲良く生活を送ることができているが、学習面においては、口頭での指示は理解しにくいと、掲示物等で視覚的なアプローチが必要である。また、予定がわからないと不安になる児童や達成可能な課題でもはじめからできないとあきらめてしまう児童もいるため、予定される活動を掲示して安心して過ごせるようにすることや、スモールステップの課題で達成感を得られるよう支援している。

本題材では、自分のアイデアを作品として表現する活動を通して、予定通りにいかないときにも周りの手助けを得ながら対処していくことや、物事に対して難しいと感じたときにあきらめずに最後までやり抜く達成感を味わうことをねらいとしている。これらは自立活動の2「心理的な安定」や3「人間関係の形成」と関連し、一人ひとりの自立に向け適切であると考え、本題材を設定した。

本作品の製作は初めてであり、手順や作業に戸惑いを見せることが予想できる。そのため、活動の順番を視覚的に提示したり、保冷剤の移し替えなどで焦らず取り組むように声をかけたり、着色の色の加減を調整する際には少しずつ色を足していったりするよう助言する等、じっくり取り組めるように配慮したい。

3 題材の目標

- 掲示物や周囲の人との対話をもとに、見通しをもって最後まで活動に取り組むことができる。

4 児童の実態と個別目標

	単元における実態	単元における目標
A	・製作の手順など、文字だけによる理解は難しい。 ・予定されていたことと違うことが起きると集中できなくなることがある。	・掲示物で手順を確認しながら活動することができる。 ・計画したデザインに変更があっても、教師と相談しながら作成することができる。 【2－(2)】
B	・製作の手順など、文字だけによる理解は難しい。 ・初めての物事に苦手意識が強く、取り組む前にあきらめてしまうことがある。	・教師とともに材料を準備することができる。 ・用意した手本を見ながら作成し、活動の見通しをもって最後まで取り組むことができる。 【2－(1)】
C	・一斉の指示で作業に取り組むことは難しいが、個別に指示をすれば活動の見通しをもつことができる。 ・物事には丁寧にに取り組むことができる。	・友達の活動を見たり教師に聞いたりしながら活動の見通しをもつことができる。 ・最後まで楽しく作成することができる。 【3－(1)】

5 指導計画 (3時間扱い)

次	時	学習内容・活動	評価の観点		
			A	B	C
1	1	デザインを考えよう	作り方を理解し、デザインを描くことができる。	友達の活動を見ながらデザインを描くことができる。	作り方を理解し、デザインを描くことができる。
2	1 本 時	瓶と保冷剤で飾りをつくろう。	確認しながら最後まで活動することができる。	手本を見ながら最後まで活動することができる。	友達や教師と話をしながら最後まで活動することができる。
3	1	作品を発表しよう。	自分で頑張ったところを話すことができる。	自分で頑張ったところを話すことができる。	自分で頑張ったところや工夫したことを話すことができる。

6 本時の指導

(1) 目標

全体目標 ○掲示物や周囲の人との対話をもとに、活動の見通しをもって最後まで取り組むことができる。

個別目標 A：掲示物で作成手順を確認し、教師と相談しながら活動することができる。【2-(2)】

B：手本を見ながら、あきらめず最後まで活動することができる。【2-(1)】

C：周りの人と話をしながら、最後まで活動することができる。【3-(1)】

(2) 準備・資料

- ・保冷剤、瓶、水性ペン、ピンセット、割りばし、装飾用素材、参考作品、作り方カード（掲示用）

(3) 展開

学習活動・内容	教師の指導・支援と評価（◎評価、☆合理的配慮）		
1 はじめのあいさつをする。	A	B	C
2 本時の学習課題をつかむ。 自分のデザインで瓶の飾りをつくろう。	・姿勢をよくして、元気よくあいさつできるように、言葉をかける。	・活動に見通しがもてるように掲示物で示す。	・活動の見通しがもてるように個別に指示を伝える。
3 飾りを作る。	・完成のイメージがもてるように、参考作品を提示する。 ・自分のデザインを作るのにどの材料が必要か確認する。 ・途中でデザインとは違って変更したい点が出てきても良いことを伝える。 ・活動の細かい流れについてはカードで確認し、手元に置いて活動の確認ができるようにする。		
(1) デザインを確かめる。 ・あらかじめ海を想像して作成したデザイン画を配布する。	・計画したデザインを途中で変えても良いことを伝え、活動の順番を確かめて準備する。 【2-(2)】	☆活動の順番が曖昧なときには、掲示物を示しながら確かめるようにうながす。	☆一斉指示後に個別で活動内容をもう一度一緒に確認していく。
(2) 準備をする。 ・材料はセットしておき、色つけに使うペンを各自選ぶ。 ・貝殻などの装飾用素材をお皿に出しておき、各自が自由に選べるようにする。	☆活動の流れをカードで示し、活動の最後までの見通しがもてるようにする。 ・自分のデザインを見て装飾用の素材に何が必要か確かめて準備する。	・教師とともに準備し、準備物がそろっているか確認する。 ☆色選びや飾りを選ぶことが難しい場合には、たくさん手元に持って行き、実際に並べてみながら決めるように声をかける。	☆材料を確認して席に持って行くように声をかける。 ・活動の進め方がわからなくなったときに友達や教師に聞きながら進めることができるようにする。 【3-(1)】
(3) 瓶に保冷剤を入れて色を混ぜ、飾り付けをする。 ・ペンで色つけた瓶の中へ溶けた保冷剤を入れ保冷剤に色つけをする。 ・貝殻など海の素材を使って飾り付けをする。	☆色や材料を選んだら、カードで次の活動を確認して進めるように声をかける。 ☆着色や保冷剤の移し替えなど、教師が事前にやり方を示す。	・難しいと感じたときには参考作品をもとに作業を続けることができる。 【2-(1)】	☆わからなくなったらどうしたらいいか、友達に聞いたりカードで確認したり出来ることを提案していく。 ☆着色や装飾など、自分のできるように、事前に教師が説明する。
(4) 片付けをする。 4 本時のまとめをする ○自分ができたところを振り返る。	◎教師や友達と相談しながら活動を進めることができたか。 【2-(2)】 (観察)	◎手本を見ながらあきらめず最後まで活動することができたか。 【2-(1)】 (観察)	◎周りの人と話をしながら最後まで活動することができたか。 【3-(1)】 (観察)
	・頑張っていたところを褒めることで達成感を味わうことが出来るように声かけをする。		
	・確認しながら最後まで活動出来たことを振り返る。	・最後まで取り組めたことを振り返る。	・自分で準備をして最後まで活動出来たことを振り返る。